

経営に関する最新情報をお届けします！

経営トピックス

Management topics



「補助金」の最新情報
～早めの準備と商工会議所や
専門家に相談して完成度UP～

町田市経営診断協会 猿山 康継 (中小企業診断士)

平成30年度の補正予算、ならびに平成31年度予算で発表予定の補助金について、比較利用しやすいものを数点ご紹介します。(一部募集開始)

それぞれの補助金について、どのようなケースで利用できるのか、補助率や上限額、申請時のポイントなどを書いていきますので、詳細は公募要領などで確認いただくか、商工会議所へお問い合わせください。

(1)ものづくり・商業・サービス補助金

①どのようなケース
新製品開発のための製造機械や効率的な最新の加工機等の購入、生産性向上のためのシステム構築費用。また設

備購入費用の他に、専門家を活用する場合などもあります。

②補助率・上限

一般型：2分の1・1,000万円
小規模型：小規模事業者は3分の2、その他事業者2分の1・500万円

企業間データ活用型：2分の1・2,000万円
地域経済牽引型：2分の1・1,000万円

③申請時のポイント

申請書の書き方がとても上手になっていて、審査の得点が拮抗しています。左記のポイントをしつかりと押さえて、簡明瞭な記述が必要です。中小企業診断士の支援を受けるのもお勧めです。

〈抑えるポイント〉

- a. 新規性：世間に無い製品、製造方法、サービスの提供の仕方、
- b. 効率UP、生産性向上：今までのやり方よりも、大幅に生産性向上する設備導入やシステム導入など。
- a または b です。
- c. 経営計画を3年から5年作成：売上が向上し、または、利益が上昇する計画を立てる。
- d. 設備などの場合、写真などでわかりやすく申請書に表示する。
- e. サービスや工程の改善の場合、商品提供までの流れ図などを作成して、改善前との対比をし、生産性の

向上を時間などで表示する。

f. 商品開発などで専門家を活用する場合、指定の単価や依頼事項、経過の示し方など、補助金請求に必要な

証明などをよく公募要領で確認しておく。

(2)小規模事業者持続化補助金

①どのようなケース

販路開拓、お客さんを増やす目的で行う、ユニークな看板作成、ホームページ作成、チラシの作成・配布、店内の改装など

②補助率・上限

3分の2・50万円、複数の事業者500万円

③申請時のポイント

- a. 経営計画の作成：売上または利益が向上する計画を作成する。
- b. 補助対象のチラシ作成やホームページ作成、店内の改装などが、どのように売上UPに役立つ見込みか、具体的な予測を想定し、わかりやすく説明する。
- c. 商工会議所の応援をもらえるようにする。指定の書類あり。

(3)消費税の軽減税率対応のためのレジ・システム補助金

①どのようなケース

消費税の変更からみ、軽減税率制度があることから、複数の税率を処理する必要があり、あらたなPOSレジ

の購入などが必要な場合。また、受発注や請求書管理のシステムの改修が必要で、システム導入や改修費用が発生する場合。

②補助率・上限

原則4分の3(3万円未満のレジ購入は5分の4)・1台当たり20万円等。受発注システムなどの場合は4分の3・1,000万円(システムによって150万円まで)

③申請時のポイント

a. 対象の機種かどうかメーカー等によく確認する。受発注システムの場合はシステムベンダー等によく確認する。

b. レジは9月30日までに導入完了、12月16日までに補助金申請。受発注システムは、6月28日までに事前申請、9月30日までに完了。

(4)IT導入補助金

①どのようなケース

今までと違い、経理の効率化のための会計ソフト、顧客情報の一元管理のための「クラウドシステム」、社内コミュニケーションシステム、飲食店のセルフオーダーシステム等のITツールの導入を対象。

②補助率・上限

2分の1・450万円(下限40万円)

③申請時のポイント

登録された「IT導入支援事業者」とよく相談してください。